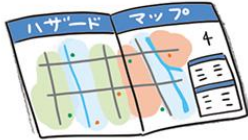


# ほけんだより 9月

令和6年度 中央国際高校 保健室

防災の日

知ってる?



## ハザードマップ

「ハザードマップ」という言葉を知っていますか？

「ハザードマップ」とは、台風や地震など自然災害による被害を軽減したり、防災対策に役立てたりするために、被災想定区域や避難場所・避難経路などを表示した地図です。

たとえば、台風や大雨の影響で川が氾濫したり、浸水したりする恐れがある地域では、水害のリスクや避難場所などの情報が載っています。そのほか、土砂崩れや津波などのハザードマップには、注意すべき場所や避難経路などの情報があります。

「天災は忘れたころにやってくる」という言葉もあります。いざというとき、冷静に行動できるように、自治体のホームページや広報などで、自分の住む地域のハザードマップを確認しておきましょう。



避難のときの約束

おはしも

災害が発生して避難するときは、ふだんは冷静な人でも、焦って自分でも驚くような行動に出ることがあります。そんなときに思い出してほしいのが「お・は・し・も」です。

自分や周りの人の命を守るために、しっかり覚えておきましょう。

お

押さない

人が密集している場所では、特に危険！  
階段も注意しましょう



は

走らない

走って転ぶと、自分も周りの人も危険です



し

しゃべらない

ラジオ放送や先生からの指示など重要な情報が聞こえにくくなってしまいます



も

戻らない

何か気になるものを置き忘れた場合でも、危険な場所には戻らず、まっすぐ避難場所に向かいましょう

